

日米豪共同訓練（サザン・クロス２６）の実施について

７月９日、航空幕僚長 森田雄博空将はオーストラリアを訪問し、ダーウィンで実施されている日米豪共同訓練「サザン・クロス２６」を視察しました。また、豪空軍本部長 ステファン・チャペル中將及び米太平洋空軍司令官 ケビン・シュナイダー大将と共同記者会見を実施し、本演習の重要性、３か国協力の意義、即応態勢の強化及び本演習が提供する機会について言及するとともに、Ｆ－３５Ａに係る３か国の運用における協力を拡大し、相互運用性を更に向上させることについて一致した旨を発表しました。

本訓練は２０２４年及び２０２５年に実施された日米豪防衛相会談の共同声明において言及された３か国のＦ－３５Ａを用いた共同訓練です。２０２５年に開催されたコープ・ノース２５（米国主催）及び武士道ガーディアン２５（日本主催）に続く３回目の訓練であり、オーストラリアでの訓練は初めてです。

